



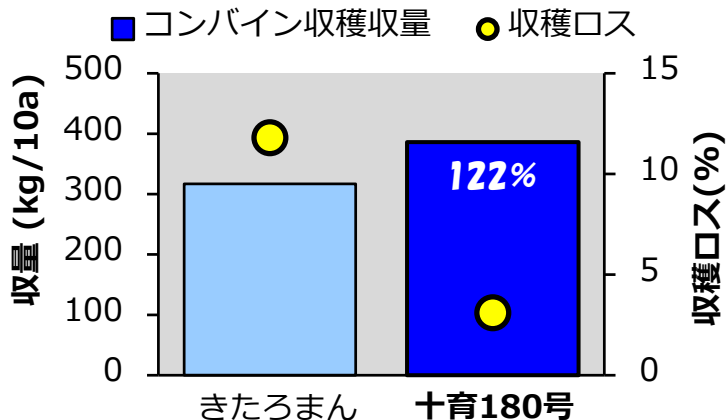
コンバインで収穫ロスが少ない！ 小豆「十育180号」

背景

- ・ 収穫作業時間の長い小豆では機械収穫向け品種が求められている。
- ・ 現行品種は地際の^{さや}莢が多く収穫ロスも多い。

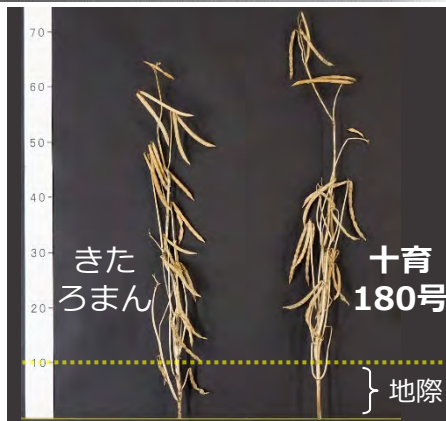
成果

1 コンバイン収穫で多収



「きたろまん」より収穫ロスが少なく多収で、高い収益性が得られます。

2 地際の^{さや}莢が少ない草姿



地際の^{さや}莢はコンバインで収穫できず、ロスとなることから、草姿を改良。

3 北海道産品質



おいしい和菓子やあんができます！

期待される効果

大規模畑作地帯における小豆の省力安定生産に貢献でき、実需者と生産者の双方の利益性向上が期待される。

